T-2901130

組立・施工・取扱説明書

お客様保管用 エバーエコウッド デッキ手摺りゲート 共 通

このたびは、当社商品をご採用いただきまして、誠にありがとうございます。この商品を安全に正しく施工していただくため、この「組立・施工・取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。

安全のために必ずお守りください

ここに示した注意事項は安全に関する最も重要な内容です。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、お守りいただく内容を説明しています。内容をよく理解して本文をお読みください。また、本説明書および当社カタログに記載されている内容に反する施工やご使用をされた場合、保証対象外となります。

安全記号	
⚠ 警 告	●取り扱いを誤った場合、使用者が死亡もしくは重傷を負う可能性がある危険度が「高い」内容を示しています。
⚠ 注 意	●取り扱いを誤った場合、使用者が中、軽傷を負う可能性がある内容、または物的損害の可能性があり危険度が「中、軽い」内容を示しています。
一般記号	
ポイント	●組み立て、施工手順で、特に注意して作業を進める必要がある内容を示しています。 ●注意して守っていただかないと、組み立て、施工が困難、あるいは強度不足のため、施工後不具合が発生する可能性がある内容を示しています。

組立・施工上のご注意

警 告

●屋上やがけの上など、商品が落下した場合にケガをする可能性のある高所には設置しないでください。
●お子様が踏み台として使用し、転落事故につながる場所への設置は絶対にしないでください。
●施工時、コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）や、コンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）で塩素系や強アルカリ系のものは、絶対使用しないでください。使用すると、金属部分が腐食し、破損、倒壊の可能性があり危険です。

注 意

●組み立て、施工場所の整理整頓、適切な安全確保を行ってください。
高所作業での転落、工具、部品の落下や倒壊の防止、暗所作業時の照度の確保などを必ず行ってください。
●工具、器具、保護具（作業服、保護帽、安全靴、安全帯、その他作業者身体の保護具）などは、安全機能を十分に確認し、正しく使用してください。
また不具合のあるものは使用しないでください。
●大型商品は、安全に組み立てるため、施工は2人以上で行ってください。
●組み立て、施工は正しく行わないと危険です。組み立て、施工前に必ず取扱説明書をお読みください。
●必ず取扱説明書に従って正しく施工してください。正しい順序で施工されなかった場合には、商品の強度など性能が低下するほか、倒壊につながる場合があります。
●梱包明細表で必要な部材、部品がすべて揃っているか確かめてから、組み立ててください。
●設置場所に正しく施工でき、不具合なく使用することができることを確認してください。
●給湯、暖房機などの熱排気が商品で妨げられ建物内部にこもったり、適切な換気ができなくなるような場所には設置しないでください。
●給湯、暖房機などの排気熱が直接商品に当たると劣化につながりますので、熱の影響のない場所か確認してください。
●通路など、通行の妨げになる場所には設置しないでください。
●防犯上、不審者が踏み台として使用し、侵入が容易になるような場所には設置しないでください。
●高台、強風地域、特にがけの上、屋上、風の通り道などへの設置は避けてください。
●風の強い場所では、商品の周囲に十分な空間を確保してください。周囲を囲うと商品に予想以上の風圧がかかり、破損、倒壊の可能性があります。
●強風による落下破損の恐れのある場所への設置は避けてください。
●水はけの悪いと思われる場所には設置しないでください。
●常に水や温水に触れたり水没する場所、また温泉やそれに類する水質に触れたり水没したりする場所には設置しないでください。
●振動、衝撃のある場所には設置しないでください。商品の破損、倒壊につながります。
●大気中に強い酸やアルカリ成分が多く含まれる場所には設置しないでください。商品の性能が低下する可能性があります。
●アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触することがないように注意してください。
●商品が腐食する可能性のある接着剤や溶剤などの化学薬品に、接することがないように注意してください。

組立・施工上のご注意

注 意

●組み立て、施工時は、商品にキズがつかないように十分注意してください。
●組み立て、施工用のボルト、ビスは規定本数（当社指定純正品）を確実に締め付け、固定してください。
●商品にバリがある場合は取り除いてください。特に切り詰めなど現場加工の場合は必ず行ってください。
●組み立て、施工時に、雨水がたまらないように十分注意してください。
●組み立て、施工時、商品にコンクリート（またはモルタル）の抽出液が付着しないように注意してください。
抽出液は強アルカリ性のため、施工後シミ、ムラなどが発生し、外観不良の原因になります。
付着した場合は、速やかに水を含ませた布などでふき取ってください。
●コンクリート、モルタルに商品が直接触れると変色する可能性があります。すき間をあける等の対策をしてください。
●商品に雨水がたまらないように、適切な位置に水抜き穴をあけることをおすすめします。
●組み立ては所定のボルト、ナット、ビスを使用して最後まで締め付けてください。締め付け不良は事故の原因となります。
●雨水等の浸入防止のために、必要な箇所には必ずシーリング材を充填してください。
●組み立て、施工終了後は、必ず商品が正しく組み立てられているか確認してください。
特にボルト、ビスなどにゆるみがないか確認してください。
●施工終了後は、汚れを取り除き、誤って表面にキズをつけた場合には、専用の補修塗料で補修してください。
●施工後の残材は他の一般廃棄物と区別し、素材別に分けた上で専門業者に処理を委託してください。
●構造物、建築物の屋根などからの雪の落下を受けない位置に設置してください。
●積雪のある地域では、雪により商品が倒壊しても危険がない場所に設置してください。
●商品の改造は絶対にしないでください。商品の性能が落ち、強度不足による破損、倒壊の可能性があり危険です。
●誤った使用を避けるため、組み立て、施工終了後、必ず取扱説明書はお施主様にお渡しして、
取り扱いの注意、メンテナンスについて説明してください。

使用上のご注意

警 告

●商品の近くで火気を使用しないでください。熱の影響により、商品の変形や火災の原因になります。
●運動具やお子様の遊具、踏み台、ふとんや洗濯物を干す等、目的以外の使用は絶対にしないでください。

注 意

●商品の一点をハンマーで叩いたり、ハシゴをかけるなどして強い衝撃、荷重を与えると破損、
倒壊事故の原因になります。絶対にしないでください。
●無理な荷重をかけないでください。商品の上で飛んだり、跳ねたりしないでください。
ぶらさがったり、寄りかかったりしないでください。
●局部的に重い物をのせたり、立てかけたり、ぶらさげたりしないでください。ボールなど投げつけたりしないでください。
●安全性の高い材料を使用しておりますが健康を害する恐れがありますので、小さなお子様やペットがなめたり、
かじったりしないように注意してください。
●商品の切り口に切断時のささくれが残っている場合や、現場加工にともないささくれが発生する場合があります。
手などにケガをしないように、取り扱いには十分注意してください。発見した場合は放置せず、施工店様に連絡してください。
●商品の付近で農薬や殺虫剤などの薬剤を使用する場合は、表面に付着しないようにしてください。表面が変色する恐れがあります。
●商品を改造したり、穴をあけたり、当社オプション品、付属品以外の取り付けは避けてください。
商品の性能が低下する可能性があり危険です。
●積雪のある地域では、必要に応じて早期に除雪してください。
●使用年月により若干の反りや色変化が起きる可能性がありますが、強度には影響ありません。
●長くお使いいただくためには定期的なメンテナンスをおすすめします。
●鉄粉などが表層に付着したまま放置すると、黒いシミの汚れの原因となる場合があります。
●安全のため、定期的に接合部のボルト、ナット、ビス等にゆるみがないか確認して使用してください。
ゆるみがあれば締め直しを行ってください。お施主様でできない場合は施工店様に依頼し必ず直してください。
●商品が破損したり、グラつく場合は、すぐに施工店様に連絡してください。破損したままで使用していると事故の原因となり危険です。

特性と取り扱いのご注意

エバーエコウッドは天然木材とは特性も取り扱い方も異なります。以下の注意事項を必ずお読みください。

エバーエコウッドの特性

◆色について

- 原料に再生材を使用しているため、多少の色のバラツキがあります。
- 質感の表現上、表面にサンディング加工を施しています。順目、逆目があり、目の向きにより色合いが異なって見える場合があります。
- お手入れ時にサンディング加工した際や表面がこすれたときなど、木粉が生じ、衣類等に付くことがあります。また、木粉が洗濯物や布団などに直接ふれないよう、ご注意ください。
- エバーエコウッドは顔料を入れて着色しています。使用環境や経年変化により顔料がはがれて、衣類や洗濯物などに付着することがありますので、ご注意ください。はがれた顔料は、濡れ雑巾などでこまめにふいてください。

◆色あせについて

- エバーエコウッドは原料に再生材を木粉にして使用しています。そのため木粉が紫外線や雨により少しずつ白っぽく退色していきますが、これは表面の変化であり、強度に支障を来たすものではありません。また、サンディングすることで元の色合いに戻ります。色の変化は使用環境によって異なります。

◆汚れについて

- 汚れが付着した時は、頑固な汚れになる前に清掃等を行ってください。汚れは使用環境に大きく影響されます。

◆素材の熱伸縮について

- エバーエコウッドは木と樹脂の特性を合わせ持つため、温度や湿度等の自然条件により伸縮や反りが生じることがあります。また、施工および使用上、問題のない範囲で反りや曲がりのある商品が納入される場合があります。

◆燃焼性について

- 周辺での火気の取り扱いには十分にご注意ください。

◆デッキ材への荷重について

- 重量物を置く場合は荷重を集中させないよう、大きな敷板等の上に置くようにしてください。
- 重量物を落とさないでください。衝撃で割れや凹みが発生する恐れがあります。
- 重量物を長時間のせたままにすると床板が曲がる恐れがあります。
- デッキ面を先端の尖ったもので突かないでください。破損や変形の恐れがあります。
- 強い衝撃を与えるような飛び乗りや飛び降りをしたり、ぶら下がったり、よじ登ったりしないでください。ケガをしたり、商品が破損する恐れがあります。

◆表面温度について

- 日中または夏季など日差しが強い時は、直射日光によりエバーエコウッドの表面温度が上昇します。裸足でデッキ上を歩くとヤケドをする恐れがありますので、スリッパ等履物をご使用ください。特に色の濃いものは表面温度が高くなりやすいので、十分注意してください。オーニング等を設置することで、直射日光を遮ることができ、表面温度の上昇を抑えることができます。

◆保管について

- 立て掛けず平置きしてください。変形する恐れがあります。
- 一時保管する場合は、直接雨が当たらないように養生シート等でカバーしてください。
- ハンマー等、硬いものを落としたりしないでください。割れ欠けの原因になります。
- 木口を硬い地面等に置く場合は衝撃に注意してください。破損の原因になります。

◆その他

- 雨等で濡れると履物によっては滑りやすくなる場合があります。歩行などには十分注意してください。
- 樹脂を含んでいるため、歩行などの摩擦により静電気を帯電する場合があります。あらかじめご了承ください。

お手入れ方法

エバーエコウッド表面に付着した汚れや染みは、早めに洗浄してください。長時間放置すると、汚れが染み状に残ったり黒い斑点の原因となります。日頃のお手入れは水洗いをしてふき取ってください。詳しいお手入れ方法はP.4を参考に行ってください。

設　計

◆伸びについて（目地、固定穴）

- 熱と吸水により伸縮することがあります。
- 建物など構造物へ突き付ける場合は、10mm以上間隔をあけてください。繋げて取り付けると、熱膨張などにより、部材が変形する恐れがあります。

◆固定方法

- 建物など他の構造物に密着させないでください。
- いかなる場合でも壁や床に直接板材を取り付けないでください。接地面が絶えず濡れた状況になったり、線膨張率の違い等で部材が変形する恐れがあります。

◆張り出し長について

- できるだけ、張り出し量を少なくしてください。

加　工

◆加工方法

- 切断、穴あけ、面取り、切削等は、従来の木材と変わらない工具で加工できます。
- 切り屑は樹脂を含むため、土に戻りません。掃き集めて自治体の条例に従って処理してください。
- 断面を長手方向に切断すると変形することがあります。できるだけ避けてください。
- 釘は使用できません。

施　工

◆ビス留めについて

- ビスで固定する場合は、あらかじめ下穴をあけて施工してください。
- ステンレス製ビスをお使いください。
- 電動ドライバーを使用する場合は、トルクを弱い力に設定してください。
- 締めすぎて空回りした場合は、ビス径が1サイズ大きいものを使用して、締め直してください。
- 叩く時は、当て木をするか、ゴムハンマー等を使用してください。

◆塗装について

- ナチュラル色に塗装する場合、専用ペイント以外は使用しないでください。
- 専用ペイントを付けた布で表面をすり込むように塗布するだけで美しく仕上げることができます。

◆エバーエコウッドペイント（ナチュラル用）

コード	品　番	品　　名	1回塗面積
45157900	PNT-EW1	ミディアムブラウン色 1/12ℓ缶（約80cc）	2.5～3㎡
45158600	PNT-EW2	〃　0.7ℓ缶	20～25㎡
45159300	PNT-EW3	〃　3.7ℓ缶	110～130㎡

お手入れ方法・塗装に関して

エバーエコウッドは天然木材とは特性も取り扱い方も異なります。以下の注意事項を必ずお読みください。

人工木材(エバーエコウッド)のお手入れ

エバーエコウッドは天然木特有の優しい風合いを持ち、人工木材本来の性能、メンテナンスの容易さを実感していただける商品です。
日々の簡単なお手入れだけで、永く皆様にご愛顧いただけます。

◆汚れの程度と掃除方法

エバーエコウッド表面に付着した汚れや染みは、早めに洗浄してください。
長時間放置しておきますと、汚れが染み状に残ったり黒い斑点の原因となりますので、水洗いをしてふき取ってください。
定期的な水洗いと、からぶきだけでも効果的です。特にホワイトは汚れが目立ちやすいので、こまめなお手入れをおすすめします。
お手入れ方法は以下を参考に定期的に行ってください。

内　容	用　具	方　法
汚れが軽い場合	柔らかい布、スポンジ	材料の長手方向に沿って、柔らかい布やスポンジで水ぶきした後にからぶきしてください。
波紋状の染み等 汚れがひどい場合	中性洗剤、スポンジ	水で薄めた中性洗剤でスポンジ等を使い、長手方向に沿って、やさしくこすってください。水道水で洗剤が残らないよう、よく洗い流します。
なかなか除去できない 頑固な汚れ、 黒い斑点を落とす場合	漂白剤、柔らかい布	漂白をする際は事前に汚れの箇所を水洗いし、濡らした後、漂白剤を所定の割合まで水で薄め、柔らかい布等で汚れた箇所を部材の長手方向にこするようにふいてください。最後に漂白剤を水できれいに洗い流した後、からぶきしてください。その際、漂白剤の取り扱いには十分注意してください。まれに色が多少薄くなることがありますが、経年変化により色合いはなじみます。
キズや焦げ跡が ついた場合	サンドペーパー (60番前後のもの) 当て木、柔らかい布等	表面の汚れを柔らかい布等でふき取ります。サンドペーパーで傷付いた箇所と周囲の部分を、長手方向に沿ってやさしくこすります。研磨は局部的に強くこすらずに、全体をぼかすように数回こするときれいに補修できます。表面を柔らかい布等で水ぶきし、削り粉を清掃してください。こすり方により、表面状態が他の部分と若干異なることがあります。

◆人工木材(エバーエコウッド)製品のお手入れのご注意

- お手入れには布やスポンジなどの柔らかいものを使用してください。
- 金属製のブラシ、ヘラ、スチールウール等は使用しないでください。
- 小石や砂等が付着したまま表面をこするとキズがつきます。
  あらかじめ取り除いてください。
- アルコール、ベンジン、アセトンなどの有機溶剤や石油類などは使用しないでください。
- 大気中のホコリやガス、雨などが床表面に付着し、そのまま放置すると紫外線などの影響を受け、雨染みや汚れとなる場合があります。
- 主成分が天然木ですので、木特有の防腐成分(タンニンなど)が雨により表層に溶け出し、表面に波紋状の染みが生じる場合があります。
- ミディアムブラウン色の商品や、お客様にてミディアムブラウンに塗装された商品に対してキズの補修をされた場合、塗装が落ちることがあります。その際は、改めてミディアムブラウンの専用ペイントで仕上げることをおすすめします。
- ナチュラルの商品に塗装する場合は、専用ペイント(ミディアムブラウン色)を使用してください。使用にあたっては、塗料に記載されている注意事項を厳守してください。ダークブラウン、ウォームグレー、ホワイトの商品には塗装できません。
- 専用ペイントを付けた布で表面をすり込むように塗布するだけで美しく仕上げることができます。ラッカー系塗料など(皮膜をつくるタイプ)の塗装ははく離の恐れがあるので使用しないでください。
- 汚れのひどい工業地帯や海岸近くでは、状況によりお手入れの回数を増やしてください。
- 定期的なお手入れにより、人工木材製品をいつまでも美しく保つことができます。

廃棄について

ご不要になった商品、また現場で発生しました残材等につきましては、各地域の条例等に従って正しく処分してください。

部品の確認

※下表をご参照のうえ、各部材、部品の有無を確認してください
※梱包内容は購入時に選択された商品により、異なります

◆デッキ手摺りゲート 梱包明細

名　称	サイズ	数　量
デッキ手摺りゲート 本体	700×50×700	1枚
旗丁番	ー	2枚
掛金具	ー	1セット
取付用ネジ （旗丁番、掛金具用）	φ3.5×19	20本

◆デッキ手摺りゲート用柱 H800 梱包明細

名　称	サイズ	数　量
デッキ手摺りゲート用 吊元エンド柱 H800	75×75×805	1本
デッキ手摺りゲート用 受柱 H800	75×75×805	1本

◆デッキ手摺りゲート用柱 H1000 梱包明細

名　称	サイズ	数　量
デッキ手摺りゲート用 吊元エンド柱 H1000	75×75×1005	1本
デッキ手摺りゲート用 受柱 H1000	75×75×1005	1本

◆デッキ手摺りゲート用柱 共通部品 梱包明細（柱1本分）

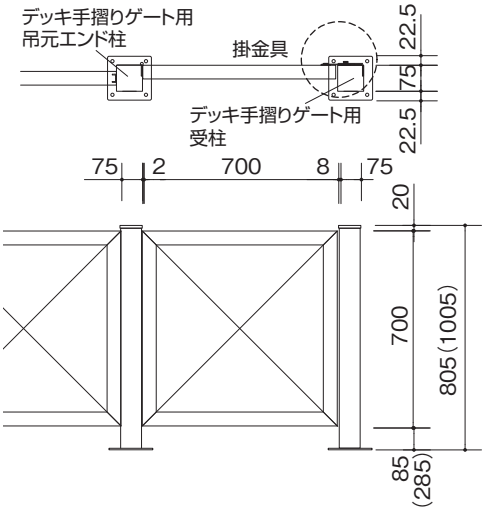
名　称	サイズ	数　量
シンワッシャー	φ5×70	4本
補強プレート	130×150	1枚
ナベドリルスクリュー （補強プレート用）	φ4×16	2本
床板固定用 シンワッシャー	φ5×70	1本

基本寸法図

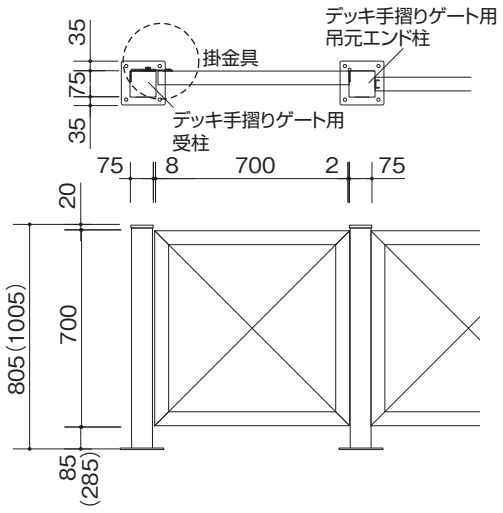
※図は内開き仕様にした例です。
※（）内は手摺りの高さ1000タイプにゲートを取り付けた場合のサイズです。

エンド柱仕様

エンド仕様 左吊



エンド仕様 右吊

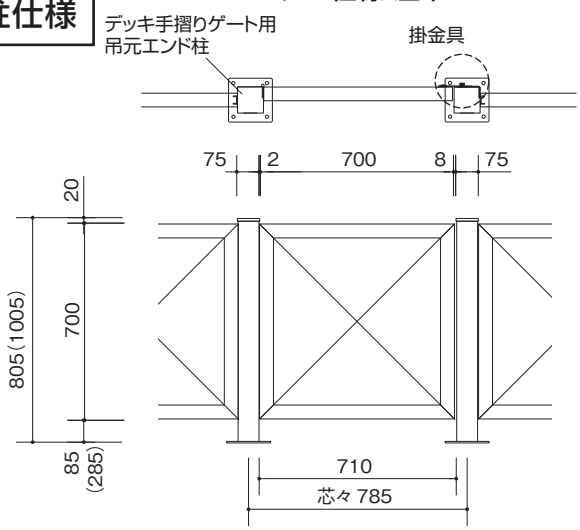


基本寸法図

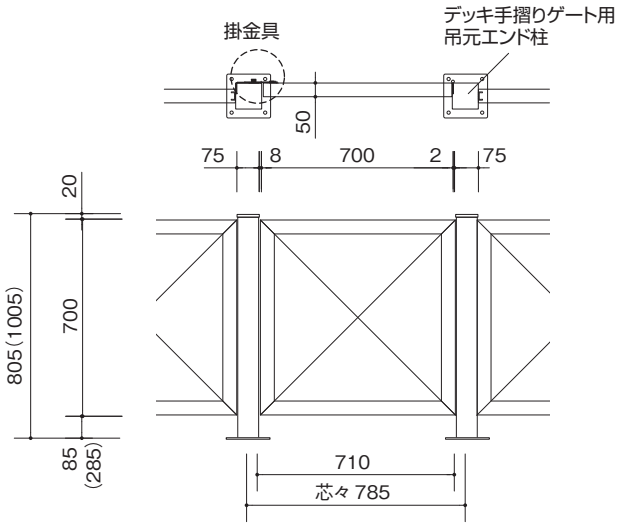
※図は内開き仕様にした例です。
※（）内は手摺りの高さ1000タイプにゲートを取り付けた場合のサイズです。

センター柱仕様

センター仕様 左吊

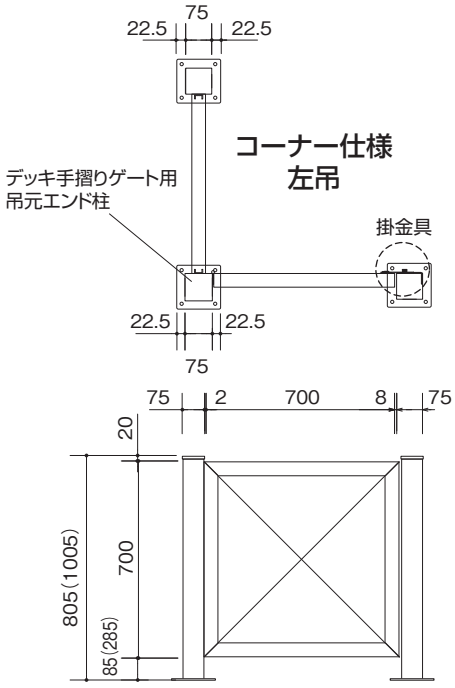


センター仕様 右吊

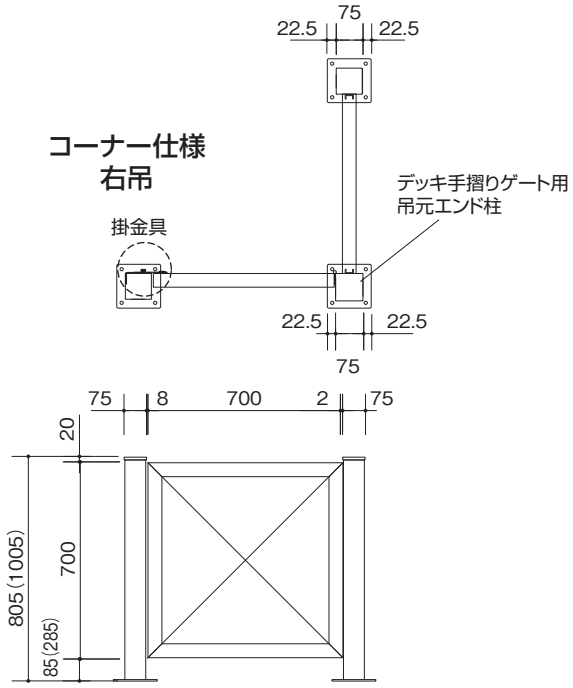


コーナー柱仕様

コーナー仕様 左吊



コーナー仕様 右吊



組立・施工

❶ 柱の取り付け

デッキ手摺りゲートを施工される際には、P.5、6の「基本寸法図」、及び下記「デッキ手摺り補強プレートについて」を参照の上、施工してください。

①**デッキ手摺りゲート**を取り付ける前に、デッキ手摺りゲート部分を除いたデッキ手摺りを取り付けます。その時、デッキ手摺りゲートの吊元側になる柱には必ず**デッキ手摺りゲート用吊元柱**を使用してください。
②**デッキ手摺りゲート用吊元柱**を**シンワッシャーφ5×70**で取り付けます。(計4カ所)

ポイント

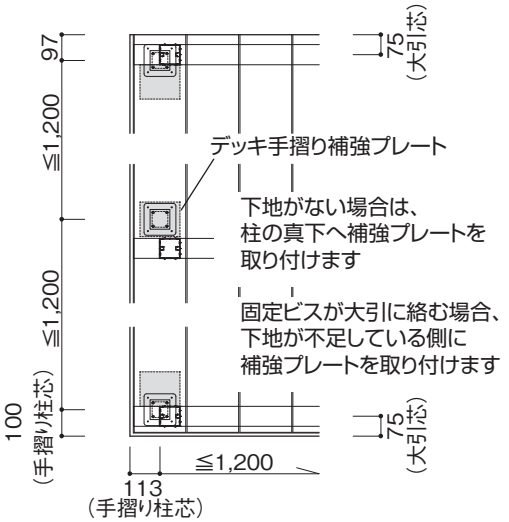
手摺り用柱、手摺り用コーナー柱の取り付けに関しては、デッキ手摺りに付属の取扱説明書をご覧ください。

《デッキ手摺り補強プレートについて》

柱を取り付ける前に、図Ⓐ、Ⓑを参考にして、デッキ手摺り補強プレートを床板裏面の所定箇所へ取り付けてください。

ご注意

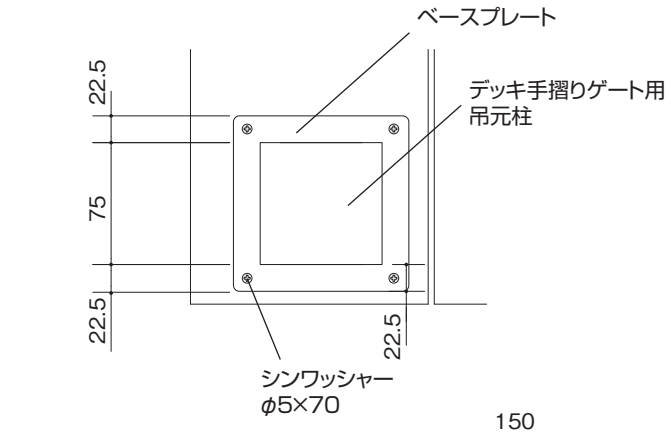
デッキ手摺り補強プレート（t2.3×130×150）
取り付け時のご注意
○床材にビスの下穴は必ずあけてください。
○プレート、大引のあるところのビス下穴は径5.5mmであけてください。
○プレート、大引のないところのビス下穴は径3mmであけてください。

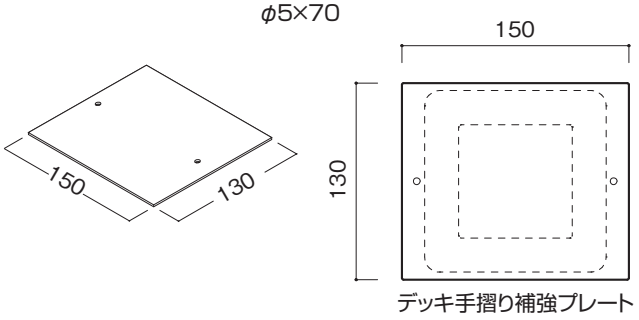


図Ⓐ　補強プレートの必要箇所

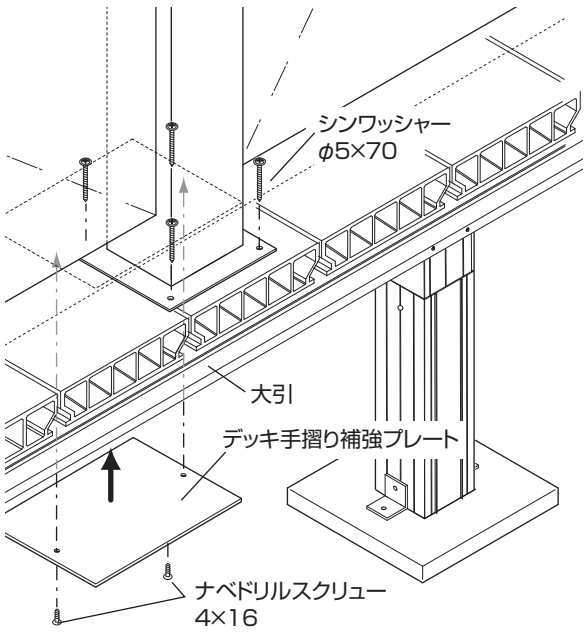
ご注意

デッキ手摺りゲートは切り詰めできません。万一デッキ手摺りゲートが柱間に入らない場合は、デッキ手摺り側を切り詰めてください。切り詰めに関しては、デッキ手摺りに付属の取扱説明書をご覧ください。





デッキ手摺り補強プレートはデッキの幕板を取り付ける前に取り付けてください。



図Ⓑ　補強プレートの取り付け

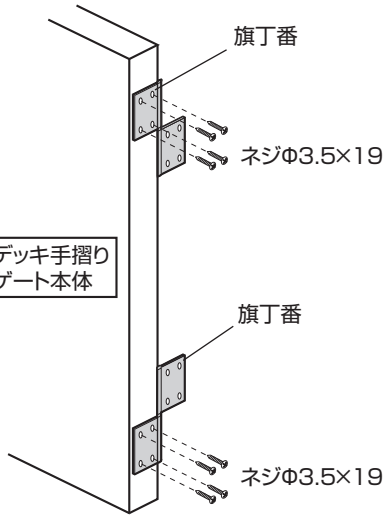
組立・施工

❷ デッキ手摺りゲート本体の取り付け

①あらかじめ、**デッキ手摺りゲート本体**側面に設けられている取付穴に、**旗丁番**を**取付用ネジφ3.5×19**で取り付けます。（図Ⓒ）
作業終了後、本体パネルが抜けないか、ガタつきがないかを確認してください。

⚠ ご注意

旗丁番の取り付ける向きを図Ⓒで確認してから、取り付けてください。



図Ⓒ　旗丁番取付図

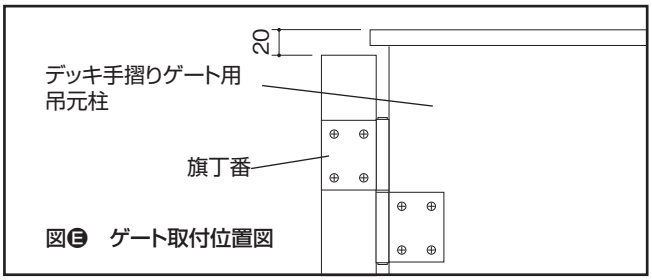
②①で**旗丁番**を取り付けた**デッキ手摺りゲート本体**を、**デッキ手摺りゲート用吊元柱**に、**取付用ネジφ3.5×19**で取り付けます。（図ⒹⒺ）

⚠ ご注意

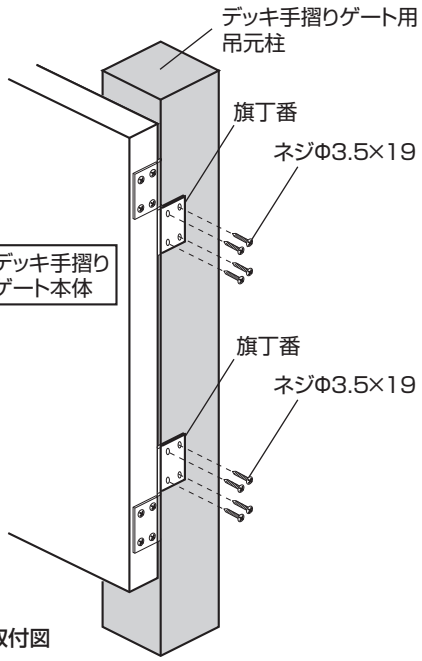
柱に旗丁番を取り付ける際には、取り付ける柱面を間違えないようにしてください。

ポイント

図Ⓔでデッキ手摺りゲート本体とデッキ手摺りゲート用吊元柱の位置関係を確認してください。



図Ⓔ　ゲート取付位置図



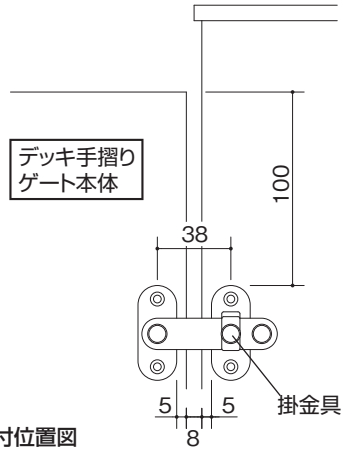
図Ⓓ　ゲート取付図

③**旗丁番**を取り付けた柱の反対側の柱に**掛金具**を取り付けます（図Ⓕ）。この時、**取付用ネジφ3.5×19**を4本使用します。

ポイント

掛金具を取り付けた後、掛金具が正常に動くかを確認してください。

※掛金具と取り付け位置はあくまで参考です。
お好みの高さに取り付けてください。



図Ⓕ　掛金具取付位置図